

第1回 光陵生としての決意 ～ 第54回入学式 新入生代表のことば ～

4月8日、光陵高校第54回入学式に新入生代表のことばを述べた川上さんにお話を伺いました。

改めて入学おめでとうございます。最初に光陵高校を志願した理由を聞かせてもらえますか。

家から近いということもありますが、昨年の文化祭に来たときに、出し物や、ダンスの公演などを見て、生徒の皆さんが、心の底から笑っている感じがしたことです。お店の呼び声や、案内の声掛けなどが明るく、楽しそうだったので、私もこの学校に入りたいと思いました。

合格がわかったときはどんな気持ちでしたか。

すごく、ほっとしました。そして、お母さんや、学校の先生たちに、早く伝えたいと思いました。おじいちゃんが塾への送り迎えをしてくれたり、インフルエンザにかからないようにコップを分けたりとか、家族には協力をしてもらっていたので、感謝の気持ちを伝えたいと思いました。

入学式の挨拶の依頼を受けたときはどんな気持ちでしたか。

驚きました。私にできるのだろうかとためらう気持ちもあったのですが、お母さんが、「なんでもやってみなさい。」と言ってくれました。確かにそうだなと思ったので、お引き受けしました。文書を書くのは、元々、得意なほうではないのですが、お母さんにも相談にのってもらいながら、考えました。

新入生代表のことばから

・・・(略)・・・

大きな変化を迎えようとしている日本で私たちが『心やさしき社会のリーダー』になるためにはどうすればよいのでしょうか。やるべきことはたくさんあると思いますが、私が大切だと思うことは三つあります。

まず一つ目は、自主性を持つことです。九年間の義務教育課程を終え自ら志願しこの光陵高校に入学しました。言われたことをやるだけでなく自分で考えて行動し、思ったことをきちんと周囲に伝えることができる人になりたいです。

二つ目は思いやりの気持ちを持つことです。困っている人がいたら助けることはもちろん自分が困った時に一人で抱え込まず、信頼する仲間にも助けを求めることでより信頼されるリーダーになれると思います。

そして三つ目は、感謝の気持ちを持つことです。今日この日を迎えることができたのは自分自身の努力もあると思いますが、それ以上に家族や友達などの周りの人の支えがあったからです。支えがなかったら、今ここに立つことはできていません。そしてこれから始まる学校生活でも、家族や友達、先生方や先輩方の力は必要不可欠です。日頃からの感謝の気持ちを持ち、しっかりと伝えることが大切だと思います。

・・・(略)・・・

堂々とした立派な挨拶でした。挨拶の中で、『心やさしき社会のリーダー』になるために大切な3つのことが出てきますね。

感謝の気持ちは、1番大切だと思っているので、これは絶対に入れようと思いました。文化祭に来たときに、自主的に動くということをとっても強く感じたので、自主性を入れました。さらに、思いやりですが、思いやりとは考えて動くことで、これが大切だと思ったので、これを入れました。

これは、高校生活に限らず人が生きていく上で大切なことですね。校長としての私の挨拶でも『心やさしき社会のリーダー』に必要な力という話をしましたが、それらと呼応していたので、とてもうれしく思いました。ところで、高校生活が始まって数日たちましたが、いかがですか。

中学校のときと違って、授業は皆まじめに取り組んでいますが、休み時間は楽しく和気あいあいとやっています。部活動はダンス部に入るつもりです。ダンスの魅力は、自由に表現できることかなと思います。

将来はどんなことをしたいと考えていますか。

助産師になりたいと思っています。小学校2年生の時に弟が生まれたのですが、お母さんは助産院でお産をしました。私も出産に立ち会ったのですが、助産師さんは、お産のことだけでなく、私のお世話も丁寧にしてくれて、あんな風になれたらいいなと思いました。

弟さんの誕生に立ち会ったことはどうでしたか。

衝撃的でした。まさに、「命の誕生！」って感じでした。鳴き声をあげて、目を開いて、すごいという感じでした。母の強さも感じました。

どんな助産師さんになりたいのですか。

妊婦さんは、不安を抱えていると思うので、妊婦さんを含めて、家族に寄り添えるような助産師になりたいと思っています。

国家資格ですし、多くのことを学ぶ必要があるし、人としても成長し、妊婦さんやその家族を支援できるような助産師さんになってほしいと願っています。今日はどうもありがとうございました。